

伯利西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado
No. 89
Caixa Postal M
Tele. Central, 2778
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi
Assignaturas
por Anno 10\$000
Semestre 5\$500
Mez 1\$000
Semana \$800

堀口公使を迎へて

堀口公使閣下は、昨年十月下旬着任、十一月九日當國大統領に、國書捧呈せられて以來七月、茲に初めて當州府を訪問し、且つ我が同胞の發展地を巡視せらるゝは、時日に於て少しく遅れたるの憾なきにあらざるも、而かも公式に堂々と來聖せられて、州府より大使同様の歡迎を受けられたるは、吾人の大に喜びとする處である。

吾人の希望を述べ

堀口公使の語る處に依れば、公使は公使としての伯利西爾に固より、今は初めてなるも、其以前當國に來らるゝこと前後三回、殊に拾六年前來伯の際は、聖州に未だ一人の同胞を留せざるにも、我は、伯國は他日必ず日本人の發展地たるを豫想して、熱心に而かも綿密に、當國主要の場所を踏査して、之を本國政府に報告したる結果が、日本移民の主目となつたことである。

禁酒とデモクラシー

醫學博士、片山國嘉
酒の害毒は、酒を飲むその一人個人の上には止まらず、即ち、現在だけで止まらぬ、それが將來に及ぼす、子孫々に及ぼす、容易に抜けぬ、これが吾々が第一禁酒を主張する所以である、その個人個人の害毒のみならず、左程大した問題ではない、將來に及ぶが故に困るのである、大酒飲みの子、女の子などに乳の出ないのがある、それも酒の害毒である、また大酒家の子供には弱いのが多い、これも酒の害毒である、それが子から孫、孫から曾孫とだん／＼將來に及んで行くから困る、即ち、その人の血統から云へば、一家の破滅を誘致するやうになり、一國から見れば虚弱の國民を作ること、日本と云ふ國の上から云へば日本の國を弱めることである、故に吾々の禁酒論は、もはや個人個人の健康とか衛生とか云ふことからは云ふでなく、一國民族の興廢存亡の爲めに慮るからである。

南行記 (七)

三月十五日、サンフランシスコ町は一寒村に相違なきも、背後に廣大なる獨逸人部落あり、鐵道の終點なり、港内水深くして可なり、大船も容易に棧橋(木製の僅かに十數間突出せるものなり)に横着けし得、風波なく頗る良港なるが故に多少の將來を有するが如し、正午小蒸汽に投じて内海を航する一時間クパトン川を更に一時間進行してデヨインビル町に着す、時間の都合上港より直ちに自動車を買はして郡長を訪問す、一枚の名刺を示して來意を告ぐ、郡長

此州の元老地方の最有力者アブ

を有す、耕地は更に其外周にあり、此牧場には使役用及繁殖用牛馬を數頭乃至十數頭置放し、夜間仕事小舎の一隅に繋飼して、ミリーヨの穀實、基程、甘蔗の搾糖よりアポーホラ、野草の如き荷も食せしめ得べきものは皆利用して以て一方愛護し一方肥料を採取する様にせり、其子供婦人等の道傍畦畔に尺地を除く所の野草を刈り集め居るもの皆之れ牛馬の飼料と見ゆ、牛馬は甘蔗搾り、製粉、運搬等は元より大工鍛冶用の小動力を起すに迄利用せられ居る、以て彼等の平素を知らず得べく日本人の常に愛護せずして、使用に際し過度に鞭撻するが如きは最も耻べき事なり。

此州の元老地方の最有力者アブ

は此州の元老地方の最有力者アブを有す、耕地は更に其外周にあり、此牧場には使役用及繁殖用牛馬を數頭乃至十數頭置放し、夜間仕事小舎の一隅に繋飼して、ミリーヨの穀實、基程、甘蔗の搾糖よりアポーホラ、野草の如き荷も食せしめ得べきものは皆利用して以て一方愛護し一方肥料を採取する様にせり、其子供婦人等の道傍畦畔に尺地を除く所の野草を刈り集め居るもの皆之れ牛馬の飼料と見ゆ、牛馬は甘蔗搾り、製粉、運搬等は元より大工鍛冶用の小動力を起すに迄利用せられ居る、以て彼等の平素を知らず得べく日本人の常に愛護せずして、使用に際し過度に鞭撻するが如きは最も耻べき事なり。

寄書 伯國去るに臨みて

サンクトス港ダロー號 船上にて 鈍牛生

滯留五月伯國去るに臨みて所感... 一寸氣付いた事を書いて見よう...

カス許りになつて居るだらうと思ふ... 吾々觀察に来た者は日本の資本家階級を...

耕地便り

サンクトス港ダロー號 隣生

住み慣れたサンパウロ市を後にして... 田舎へ行くこと云ふ事は、僕に取つて...

馬鹿／＼しくなつた。僕は着替早々便所設置の事を支配人に話した...

衛生欄

高麗醫師

問、妾は博多丸にて渡航せし者なり... 答、あまり容體が簡單で見當が附...

問、私事四月初頃頃倒れて木の角にて向腰を強く打撲し、只今は創も無ければ...

土地賣却

豫期した如く Hector Lynch 驛はノロエスタ線に於ける同胞發展の中心となり...

イタコロミ一殖民事務所

Escritorio da Fazenda Itacolomy Estação Heitor Legri Linha Noroeste

美利具比殖民地

當社は水質良好、氣候溫和なる珈琲其の他の全作物に適する肥沃地にして...

宮崎八郎

The San Paulo Land, Lumber & Colonization Co. (Comp. de Terras, Madeiras e Colonização de S. Paulo) Est. Birigui, Linha Baur-de-Irapua (antiga Noroeste)

春洋、天洋を遙に凌ぐ 二大瀛船を建造

總噸數二万六千四百廿八噸 東洋瀛船の東京丸と桑港丸

平和に輝く海洋に雄飛活躍せんとす。春洋、天洋を遙に凌ぐ。英國の海運政策に抗すべく日本を代表して玉串を捧進し式郵船東洋汽船兩社にて、莫大の事業を遂げ、外臨時外交調査委員清浦海軍副議長に是れが機策に就きて、議中なりし長以下顧問官陸海軍大將貴衆兩院議が彼の英國が最近超エンプレス級の員文武官陸海軍大將貴衆兩院議巨船を建造中なりとの報に接したる各方面の名士等約一千餘名近來に無重役會に提出して専ら協議中なるが、にて茶毘に附し郷里鹿兒島に送らる既に東洋汽船にては會社現在の一、二等、三等、船を春洋丸、天洋丸に倍したる二萬六千四百廿八噸と目醒ましき巨船を二隻建造し船名さへも「桑港丸」「東京丸」と命名す可く内定せるが此二大船は一等三百廿八名二等二百九十二名三等七百四十九名合計千二百六十九名の

北米アラスカから浦潮へ 地下鐵道

四月七日午後二時浦潮より入港の露國義勇艦「ベンザ」號にて長崎に歸來せる船客の談に依れば「オムスク」政府は最近軍需品購入基金として不換紙幣を發行し日貨五百萬圓を購入するが更に三百萬圓を買入んとすべく傳へらるる米國は依然過激派の援助をなし居れるる可く殊に其速力の快迅なる桑港横濱間を十一日間（天洋丸は十六日間）にて航走し得べしといへば本船航の曉は蓋し吾海運界に一大色彩を添ふるものあるべし。

内相夫人

稀なる盛葬儀……
會葬一千餘名……
床次内相夫人は、子刀自の葬儀は途中葬列を廢し四月七日午後二時青山齋場に於て神式に依り執行せられたり之より先同日には午前十一時、出棺祭を行ひ喪主正一氏を初め家族親戚其の他の拜禮あり午後零時半齋場は近親の附添ひにて青山齋場に護送し齋場の祭壇中央に安置し獻儀の式ありたる後刻各會葬者其の他著床するや祭主千家尊弘氏の誦詞捧讀に次で喪主正一氏家族親戚葬儀委員長上原參謀總長總務係内一次小橋次官副警視總監井上府知事、原首相、以下各國務大臣各元帥の玉串を捧進し、次で竹崎副議長は會

野球戦

一高對三高の
頗る猛烈なる野次振り
昨日の一高對三高の野球試合、野球史あつて以來の好勝負であつて向後、さして押寄する好球兒は本郷通に延々と續き
一高前は、大深難で午前十一時半、さうく正門を閉じて生徒が門の上、馬乗りとなつて聲を喝して制止し

明治の功勞者 前島勇長逝

維新當時の功勞者にして東京専門學校長たりし前島勇長は、四月廿八日（電報）に長逝せり（四月廿八日電）
附記 逝ける前島勇長は日本海軍海軍少將、明治六年生、海軍少將、大藏省出仕、海軍大臣、内務大臣、元老院議員、逓信大臣等歴任、遺言後改葬東京海軍專門學校長たり

聖上陛下行幸 靖國神社五十年祭

兩陛下と東宮殿下とは五月二日靖國神社五十年祭に行幸啓遊ばさる、旨仰出されたり尚ほ靖國神社五十年祭は三日間賑々しく行はる
一、時下落せる期米相場は内地米の不足にて漸次頭をたげ來り廿九日の後場にて卅九圓臺に跳上りたり（五月一日電）

期米又々廿九圓 臺に暴騰

の觀覽席に十重二十重と詰懸けし幾萬の觀衆も此猛烈な漸次に熱狂した、斯くて午後一時廿五分高田氏の球審早大市岡氏の壘審の下に三高軍先攻して戦端は開かれ島田氏のプレーと宣告するや拍手を迎へられ三高の主將今田はバットを手に現れた折も好く周囲の櫻子を盛りと咲き亂れて此激戦の場面を飾る、惜しや三高軍は遂に敵の爲に第三回に一點、第五回に二點、第七回に一點を奪はれ、僅に八回に二點を得たのみで四アルハートにて返り討となつた

産れて二十六年目に 初めて父の顔を見三人の

初めに父の顔を見三人の
妹に會ふ奇しき物語り
大阪 府西成郡西中島村大字川口に土地の青年が組織した小さい夜學校がある或る集りの夜會員の梶原信次郎（三）が「兩親に逢ひたい」と永年思つてゐたがドウして探してよいか困つたものだ」と嘆息した、それを聞いた五六名の青年は信次郎を扶けて兩親の探索に盡力する約束をし、それから丁度五ヶ月を経た二月の中旬村の有力者や青年達の親切の効があつて信次郎は
名も顔も 知らなかつた父親虎三郎（二）妹さだ子（一）よし子（一）に廻り逢ひ向巖手縣高田にゐる妹かつ子（二）にも近く逢ふことになつた歡喜と感謝に充ちた信次郎は、やかな住居の襖を貼る換るやら疊がへするやらして遠來の妹を迎へる準備を急いでゐる、信次郎の兩親は北區朝日町で酒商を営んでゐたが信次郎が未だ母の（八年前死亡）の胎内にゐる頃失敗して父親は東京に夜逃げ同様に出てゆき、母親はその後で信次郎を生んだが生活に迷はれて信次郎を他人の手に渡した、暗い世界を轉々した後信次郎は四五歳の頃現在居る家に拾ひ上げられ今の上州屋に投宿したる者にて

兄妹心中

四月六日午前八時半の日光發六百十號列車が日光驛を距る十數町の賣賣進行中若き男女が機關車の前に身を投じたり同所は急勾配の處にて辛うじて停止したる時は男女共に無慘なる姿となりて車輪の間にまき込まれ男は左足の指を斷たれ背部其外にも無數の負傷あり女は左足の指を斷たれ左の頬を割かれたるみにて兩名共死に切らさず苦し居るを漸く出して引出し日光傳染病舎へ收容し加療中なり此の男女は五日夜六時十分の日光發にて東京より來り驛前の上州屋に投宿したる者にて
淺草仲見世の袋物商國枝友治長男長治（一）と妹ひさ（一）なり上州屋の宿帳には宇都宮市旭町酒商荒屋方晴喜太郎と妹とよと記入あり交友治夫婦が不和にて家庭に面白からぬ事情あり殊に兄妹は生さぬ仲とて母の折合せ悪く實兄なる宇都宮旭町婿政治を尋ね來りしと思ふやうにならず遂に自殺を計りしものなりと
締麗で、迅速で丁寧で有名な
石村洋服洗濯所
電話セントラル參貳參四
Kumada Lavaprs No. 236

在東京伯國 大武和三郎氏著
葡和辭書 寸珍版美本
六百四十四頁
實價 七、五〇〇
送料（郵便書留送付）は 五百〇〇
右伯語研究會の依託に據り實價を以て販賣す御入用の方は代金に郵税を添へ申込あれ、發送は着金順ご定む
イグアベ植民地はイグアベ植民地本部
リベイオン附近はリベイオン時報支社
Caixa Postal, 290 Ribeirão Preto.
取次所
伯刺西爾時報社營業部
Noticias do Brazil
Caixa Postal, H
São Paulo

「イグアベ」植民地
●當植民地○は醫師、獸醫、農業技師、測量技手、園藝得業士等常置し植民地の保護誘掖上必要なる組織を有す
●當植民地は道路四通八達交通自在なり
●當植民地に於ては新來植民は耕作時期まで日雇又は請負の勞働に従事することを得
●當植民地には資力乏しき者にてても自作農業爲し得る方法あり
●「イグアベ」植民地視察者の爲め「サントス」より植民地本部「サントス」に到る道案内
●汽車の「サントス」發は毎週月曜日水曜日（午前九時二十分）土曜日（此日だけ午前七時）にして其「ジュキア」着は午後四時
●此間の三等車賃は十軒百レウスなり
●「ジュキア」には停車場近くに小旅店二軒あり。宿料參軒内外なるが投宿の際取極め置く方宜し。
●朝朝汽船又はガソリンランシャにて「ジュキア」を立てば當日「サントス」に到着すべし
●此間運賃參軒なり
來り理想郷を作れ
Kumada Lavaprs No. 236



正長向海法 平内 仕官を勤むる事

昔々を懐いて無念の切齒をいたした... 仕官を勤むる事... 平内 仕官を勤むる事... 仕官を勤むる事... 仕官を勤むる事...

お転婆な北米女... 婦人欄... 北米女は天性社交的に出来て... 教育もあり、識見も廣い...

植民募集 エスタソン ポルト、ジョン、アルフレッド 西原植民地 Estação Porto João Alfredo L. Sorocabana 土地の年期貸與と家屋、食料、其他に關し各種の便宜を供し小資本を以て確實多量なる農産の持主たらしむるを方針とす...

ANTUNES DOS SANTOS & COMP. AGENTES DAS COMPANIAS NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSHEN KAISHA 日本郵船會社定期船 さぬき丸 六月十八日サントス着 同廿日日本に向け出帆 かまくら丸 五月廿七日長崎港出帆 七月十八日サントス港着豫定 伯刺西爾移民組合支部 Rua Verguinho 15, S. Paulo. (Caixa Postal 1082) アンソニー・ネスト、サントス會社 (Caixa Postal 237) Rua Libero Badurro 53, S. Paulo.